



鹿児島県立鹿屋高等学校
PTA広報誌 第81号



鹿屋高校へアクセス!

発行日 平成31年3月1日
発行 県立鹿屋高等学校PTA
発行責任者 PTA会長 桑原 克幸
編集責任者 広報部長 上馬庭 ちず子
題 字 立神 慶斗(2年1組)

- 1 面: PTA会長、校長より~卒業生へのメッセージ~
- 2・3 面: 保護者より~卒業生へのメッセージ~
- 4 面: 3学年団・教科担任より~卒業生へのメッセージ~
- 5 面: 生鮮芸術市場
- 6・7 面: 2年学級紹介&修学旅行紹介
- 8 面: 長距離走大会・野外実習・受賞報告
離任式のご案内・編集後記

「絆と心」

PTA会長 桑原 克幸

卒業される皆様、おめでとうございます。
鹿屋高校で過ごした三年間どうでしたか。そして今、これからの進もうとしている道にどのような思いが浮かびますか。

皆さんは、授業・部活・行事などを通して楽しかったこと、嬉しかったことが沢山あったと思います。また同時に悔しいこと、悲しいこともあったことでしょう。そんな楽しい時間・悔しい時間を仲間と共に過ごし、支えあってきたことだろうと思います。どんな時も支えあって、笑顔と涙を分かち合ってきた友達・仲間とはこれから強い絆ができていくことでしょう。4月からはそれぞれの道に進んで行くことになりますが、いろいろなことが待っていると思います。楽しい時、特に辛いことに直面したときは、鹿屋高校で過ごした時間を思い出してください。きつと乗り越えられるはずです。頑張ってください。

「V&W」を

校長 橋口 浩二郎

本校は、「知・徳・体」三者の調和的発達を目標に掲げ、世の中で活躍できる「三星健児」になることを目指している。七一期生もその期待にたがわず、三年間友人たちと切磋琢磨しながら着実にその目標に近づいてくれた。

知力を鍛えるため授業や課外に全力で取り組み、徳力や体力を身に付けるため、部活動、ボランティア活動、学校行事等に励んできた。限られた時間の中で質の高い練習を積み重ね、全国や九州大会に出場した部活動。体育祭での二連覇など級友たちと三星魂を磨いてきた。

ところで日本は既にこれまで経験したことのない人口減少時代に突入している。人工知能AIの発達、特にディープラーニングにより、進

さい。応援しています。

そして、皆さんが卒業すると同時に皆さん、お父さんも卒業となります。毎日のお弁当作り、学校・部活への送り迎え、毎日頑張ってきました。一緒に喜んで、時には親子げんかをしてたり。でもそれはすべて皆さんの笑顔のためです。卒業という日を迎え、心から笑顔で喜んでくださるはず。でも、喜びの裏にみなさんに悟れないように隠している寂しい涙もあることを感じ取ってください。そして、感謝の心を忘れずに過ごしてください。

保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。三年間、PTA活動へのご協力に感謝申し上げます。心優しくたくましく成長された子どもたちの、これから一層の活躍をお祈りしています。

また、校長先生をはじめ教職員、関係者の皆さま、卒業生が鹿屋高校での三年間を頑張りがけ、それぞれの道へと一歩を踏み出すことができましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

化のスピードが加速度的に増している。この変化に対応していくために、「学び続ける姿勢」が重要となる。本校で身に付けた知力・徳力・体力を存分に発揮し、未知の世界を駆け回ってほしい。iPS細胞の研究でノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥さんは、これからの世の中を生き抜くための指針として、「V&W」を挙げている。「Vision&Workhard」。すなわち目標を掲げ、その達成のために懸命に努力を続けること。これが続けられれば、きつと充実した人生を送ることができるはずだと述べている。因みに山中さん自身の「Vision」は「医療の力で多くの人を助けたい」だそう。だから自らの力で「Vision」を立てることになる。人々の幸せを願い、猪突猛進で突き進んでほしい。

七一期生の揚々たる前途に幸あれ！卒業おめでとう！

大学入試センター試験

1月
19日・20日
土 日



平成最後の大学入試センター試験を3年生が受験しました。この後は、各自の進路目標にむかって、それぞれの受験する大学の個別試験に臨みます。

センター試験 激励会

1月8日
火



3学期の始業式の後、生徒会の主催でセンター試験激励会が行われました。生徒会長の激励のことは、3年生代表の決意のことがそれぞれ交わされ、2年生応援団からエールが送られました。



三星祭



保護者より 卒業生への メッセージ

七一期生の皆さん、ご卒業おめでとございます。

色々なことを学び経験した実り多き三年間だったことと思います。

我が子は、二年間、課題に悪戦苦闘しながらも休むことなく楽しく過ごせました。頑張る姿を誇らしく思っていました。

それというのも先生方を始め、クラスメイト、部活の仲間の支えがあったからこそです。本当にありがとうございます。

この三年間で培った「三星魂」を胸にこれからも頑張れ!!いつまでも母は、あなたを応援し続けます。

高校生になると親が学校に行く機会はあまりなかったですが、二連覇した体育祭や文化祭で、あなたたちの「青春」を満喫する姿を見ることができてよかったです。

三年生で引退するまでは、とにかく部活動中心。「知徳体」、文武両道の鹿屋高校では、日々の課題もたくさん。勉強や部活で疲れ、時には悪態もつかれましたが、それがなくなると思うとちょっと寂しいです。

巣立っていくあなたたちに、親としては、心配が尽きませんが、今のあなたたちがいるのは、これまでの十八年間、たくさんの人たちに支えられたからです。また、高校時代の友は、一生の友...これから、最高の仲間たちと過ごした三年間や「素直さ」「謙虚さ」「朗らかさ」の気持ちを忘れずに、夢へと向かって進んでいくてください。

七一期生の皆さん、卒業おめでとうございます。これからも、私たちは、あなたたちのサポーターです。私たちの子どもでありがとう!

月日が経つのは早いなと感じます。中学三年生の時に文化祭を見学し鹿屋高校の先輩達の姿に感動していましたね。鹿屋高校生になりたいと強く思い受験しました。合格発表から入学式まで鮮明に覚えています。先生方やクラスメイトに支えられた三年間。部活と勉強の両立が難しかったように感じます。お母さんは、一生懸命頑張っている姿を見て応援していました。これからは、自分で道を切り開き進んでほしいです。家族は見守っています。沢山の人の支えられて、今の貴方がいます。感謝を忘れず、謙虚であれ。卒業おめでとう。

「こんにちは。」
校舎内に響く元気な生徒さんたちのあいさつに感動し、教室が分からず、部活のトレーニング中の生徒さんに恐る恐る尋ねると、
「案内します。」

と、笑顔で返され、汗をかきながら案内して下さったことに感激したこと。少人数の中学校から入学したのでの私たち親子にとって、それは本当に心強いものとなり、ここで学べる娘を誇りに感じたことか...

あれから、もう三年。あのとき出逢った生徒さんのようにはなれずとも、部活をしたり、高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」に入ったり、様々な行事のたび熱くなったり。親も役員をさせて頂く機会もあり、たくさんの方々に関わりながら成長させて頂いた日々でありました。ありがとうございます。

これから、本物の荒波です。どんな波が来ようとも、自分を見失わず立ち向かってほしいです。キバレー応援してるからね。

中学校時代にバスケットボールを通じて知り合った仲間たちと、鹿屋高校で一緒にプレーがしたいと言って目指した高校でした。念願叶い学業と部活動生活の日々が始まりましたが、中学校時代とは比べものにならないくらいハードな練習と沢山の勉強や課題に追われ、この生活を最後まで頑張れるか心配しました。

しかし、鹿屋高校で出会った先生方や友達、そして共に汗や涙を流した仲間たちがいてくださったので、無事に卒業の日を迎えることができましたのだと思います。息子にとって一生の宝です。

雨の日も寒い日も自転車を通った三年間。過ぎてしまえばあつという間の三年間でしたが、出会った方々への感謝の気持ちを忘れずに一歩前へ踏み出してもらいたいと願っています。

卒業おめでとう。

姉の背中を追いかけて、入学した鹿屋高校。

憧れていた部活動にも入部して、素晴らしい仲間とも出会うことができました。何をやるにも、のんびりゆっくりの娘は、鹿屋高校での課題やテスト勉強に追われる日々。それでもコツコツなんとか乗り越えてきましたね。その頑張りは、父も母もすごいなと感じていました。小さい頃から変わることなく夢見続けている保育士への道を叶えるべく大学を選び、その目標に向かって、ゆっくりではあります。自分なりに頑張ってきました。これから親元を巣立っていくことを考えると、子どもの成長とは嬉しくもあり寂しくもあります。小学校から高校と



宿泊学習



修学旅行

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学式の日まだあどけない表情を浮かべ、桜の木の下で記念写真を撮ったあの日から三年。早いものでもう卒業ですね。皆さんのほとんどが四月から親元を離れ、新しい場所での生活が



高隈登山

親子で、たくさんの思い出ができました。子どものお陰で、親もたくさん経験をし、育つことができたように思います。これからも親として、娘の未来を応援し見守っていききたいと思います。

三年前のちょうど今頃、あなたは進路で悩んでいました。悩みに悩み抜いて、どうしても鹿屋高校吹奏楽部に入りたい...という強い意志を貫き、どうにか合格をいただき、迷うことなく吹奏楽部への入部を決めました。そのときの選択は間違っていないかった、今母は自信を持って口にすることができま。高校へ入学してからのあなたの表情は、希望と自信に満ちあふれ、本分である学業と部活との両立の大変さも半ば楽しみつ、高校生活を過ごしていたように思います。休むことなく登校できたのも、吹奏楽部に関わること出会えた先生・先輩方、後輩・同級生の皆様のお陰です。この出会い、あなたの人生の宝物、感謝しありません。また、この活動とおしてさせていただいた数々の貴重な経験もこれからのあなたの人生の糧となり、力となることでしょう。ドキドキ、ワクワクの三年間をありがとう。これから私たちがあなたたちの『最強の応援団』です。卒業おめでとう。

始まります。少し不安もあるでしょうが、楽しみの方が大きいですね。しかし親である私たちは不安で仕方ありません。

男の子たち：電話越しで面倒くさそうにそっけない態度をとらないように。女の子たち：毎日ラインするように。悪い虫がつかないか、犯罪に巻き込まれやしないか、心配で夜も眠れませんか。

さて、鹿屋高校七一期生の皆さん！旅立ちの用意はできましたか。輝ける未来へと歩いていきましょう！チエスト！

卒業おめでとう。あつという間の三年間でした。本当に時が過ぎるのは早いと感じます。

よく仕事場の仲間と「小さいとき感情的に怒ってしまい、かわいそうなことをした。またやり直せるのだったら子育てをやり直したい」と話が出ます。未熟な母親だったと、そのときは一生懸命で分かったことが今だから分かる。私も初めての子育てで、感情的に怒り我慢させることが多かったと思っています。あなたにとって理想的な親ではなかったと。

私がそうであるように、もうこれから先、親と一緒に住むことはないでしょう。これまで子育てさせてくれてありがとう。大変なこと、嬉しいこと、楽しい思いをさせてくれてありがとう。

これから先はいろいろなことがあると思います。近くにいて何かすることはできません。すごく寂しいですが、自分の人生を作っていくて下さい。

『自分の力だけでできていることは何も無い。周りの支えが必ずある』という言葉を贈ります。いろ

んな人に感謝を忘れず、人を大切にして。幸福になることを願っています。

三年前の春、一学年たった十三人の小さな中学校を卒業し、入学した鹿屋高校は、大勢の仲間と共にスタートしました。始めは、クラスの友だちの顔も名前も覚えられない、と楽しむにはほど遠い高校生活で、大勢の集団の中で過ごす毎日に疲れ果てて帰宅する日々でした。

しかし、月日が流れるのは早いもので、あつという間に卒業の日を迎えようとしています。七一期生は久しぶりのハクラスと人数も多いながら、一致団結いろいろな行事に素晴らしい活躍を見せ、中でも二連覇を果たした体育祭は思い出に残っているのではないのでしょうか。朝早くの課外から、仲間と共に楽しんだ学校行事、辛かっただろう受験勉強、卒業の日まで全員が本当によく頑張りました。卒業しても、共に過ごした三星健児として、これからも変わることなく縁を繋いでいって下さい。

七一期生の皆さん、卒業おめでとうございます。そしてこれから輝かしい未来を心からお祈りいたします。

休むことなく通い続けた三年間でした。

部活や行事では、弾けんばかりの笑顔で楽しそうに取り組んでいた姿が印象に残っています。

「おかずは三種類以上入れて！」という娘の要望に、あまり応えてあげられませんでした。親元を離れてお弁当を作っておける機会がなくな

なると思うと寂しくなります。支えてくださった先生方、良き友だちと過ごしたこの三年間は、人生の貴重なひとときであったことにこれから気付くと思います。

この一瞬は一度きりです。これから出会う新しい仲間と素敵な毎日を作り上げていって下さい。卒業おめでとう。

毎日、どんな日であろうと厚いカバンにリュックを背負い、お弁当を持って学校へ通った三年間。時には辛く、大変なこともあったでしょうが、頑張るあなたの姿に、学んだり励まされました。学校を休まず通えたのも仲間や先生方の支えがあったからです。鹿屋高校での経験はこれからの人生の大きな支えになることでしょう。巡り会えた仲間、先生方、多くの経験に感謝し、それぞれの新たな道をこれから応援しています。卒業おめでとう。

ミレニアムベイビー、平成最後の年に高校を卒業、そして体育祭二年連続優勝と、何かと話題性のある七一期生の皆さん、卒業おめでとうございます。この学年でよかったなと改めて思います。勉強、部活に明け暮れた三年間。もしがしたら辛いことの方が多かったかもしれません。でもどんなときも弱音を吐かず精一杯走り続けたことは、必ず華を咲かせ実ることと思います。娘を支えて下さった先生、友人の方々本当にありがとう。ございました。母はあなたの親になれたことを幸せに思います。

最後に、七一期生の皆さんのこれから先の未来に幸甚多からんことお祈りいたします。

3学年職員・教科担任より

卒業生へのメッセージ

卒業おめでとう。
小さな幸せな時を積み重ねて、喜びの多い日々を過ごして下さい。

1組 担任 岩元直子

これからが
もっと楽しい(はず)。
卒業おめでとう。

2組 担任 丸山亮子

疲れ果てて足が止まるとき
少しだけ振り返ってよ
手の届かない場所で背中を
押してるから
(「Mr.Children 旅立ちの唄」)

2組 副担任 有村 恵

ありがとう

1組 副担任 喜入みどり

何事も前向きに

1組 副担任 大山和也

卒業おめでとう。
自分で選んだ道。
今からがスタートです。
皆さんの活躍を期待してます。

3組 担任 吉留太郎

祝・卒業
志を失うな！！
逆境こそチャンスである。

3組 副担任 松田憲朗

何事も
大胆かつ緻密に
一生懸命が大切！

3組 副担任 神川裕生

「敬天愛人」
自分を愛する心を持って、
人を愛する心を持つことが
大事だと思います。
これからも頑張ってください。

4組 担任 横山泰三

”本気”でやろう。
やると自分で
決めたのなら。

5組 担任 永山大三郎

チェスト！
三星健児

5組 副担任 川野和昭

断固たる
決意をして行動
それが自分の幸せな
人生の第一歩

5組 副担任 神蘭寿史

体と心の
健康に気をつけて
ゆっくりと
歩んで下さい。

4組 副担任 南郷哲也

また会いましょう！
それまでお互い元気に
がんばろう！！

6組 担任 池田有希

卒業おめでとう！
新たな世界で
頑張ってください！！

6組 副担任 指宿剛志

卒業おめでとう。
これからは
「あわてず、あせらず、あきらめず」
に人生を送っていきましょう。

7組 担任 渡辺卓郎

「感謝」と「出会いを大切に」
自分も周りも幸せに
できる人になってください。
卒業おめでとう。

7組 副担任 中尾 舞

It ain't about how
hard you can hit.
It's about hard you can get hit
and keep moving forward.
(哲学者 ロッキー・バルボア)

8組 担任 山元 絢

「バッドエンドはない、
僕たちは途中だ」
(又吉 直樹『火花』)

8組 副担任 大坪 茜

「自由」＝「自己責任」
自分の行動は
自分の責任です。

地理 柏木遼太

”慢心は人間の最大の敵だ
by シェイクスピア”
気を抜かず、目標に向かって
努力し続けてください。

世界史 荒木一樹

心に花

地理・世界史・倫理・政経 永田聖史

大雪梅花麗
豊かな人生を
送ってください。

日本史・現代社会 吉野真子

高校を卒業したら、
できなくなることもあります。
でもきっと、出来るように
なることの方が多いですよ。

日本史・現代社会 田中梨穂

卒業後に何かひとつ
スポーツを続けよう。

保健体育 田代春樹

御卒業おめでとうございます。
自らの目標に向かい
大きくはばたい行って下さい。
健康第一で自己実現を。

保健体育 村瀬 隆

卒業おめでとう。
この先も様々なことを
学び続けていこう。

地学 戸田政仁

人生は進歩です
最上のは過去に
あるのではなく
将来にある
「赤毛のアン」より

生物 児嶋和子

迷ったらまずはやってみて！
辛いときには笑ってみて！
きっと大丈夫
きばれ三星健児

進路指導 市来理恵子

吹奏楽部

部長 森田 花怜
(2年5組)

2019年
1月24日(木)
~28日(月)

私たち吹奏楽部は、どの世代の方々にも楽しんでいただけるように、日々の練習に取り組んできました。今回の生鮮芸術市場では、たくさんの地域の皆さんに私たちの演奏を届けることができましたと思います。また、当日までは奏者が全員揃うことが中々なく音が足りない中での練習が続きましたが、本番では全員が揃い演奏することができました。これからも私たちの目標にしている「人の心に届く音楽」を奏でていけるように部員一丸となって頑張っていきます。



生 鮮



写真部

部長 哥丸 迪衣
(1年5組)

私は写真部で生鮮芸術市場に参加させていただきました。多くの方々に

ご来場いただき、本当に素晴らしい発表になったと思います。私は初めての参加だったのですが、吹奏楽部・美術部・書道部・写真部が一丸となり感動的な芸術市場になりました。写真部は、日頃の生活の中での思い出のある場所や、感銘を受けた場所を、それぞれが最高の1枚として写真におさめました。



美術部

部長 立神 慶斗
(2年1組)

私たち美術部は、高校美術展の作品展示と共にお客様の似顔絵を描かせていただく似顔絵コーナーを行いました。お子様からお年寄りの方々まで沢山のお客様が来てくださいました。似顔絵を描く際は緊張しましたが、お客様と笑顔で接することでとても楽しく描かせていただくことができ、「上手だね」とお褒めの言葉を掛けられ、よりいっそう絵筆が進みました。これからも人の心に届くような作品を描いていけるよう部員同士励まし合って努めていきたいと思っています。

書道部

副部長 杉野 風香
(2年3組)

私たち書道部は、「県高校書道展」に出品した作品の展示と27日に書道パフォーマンスを行いました。パフォーマンスは今年が平成最後ということで「平成」をテーマに新しい時代を前向きに迎えられるように、思いを込めて書きました。作品やパフォーマンスを見てくださった方々から多くの温かい声をいただき、とても嬉しかったです。無事に展示やパフォーマンスができたのも周りの方々の支えがあったからだと思います。これからも部員全員で頑張りたいと思います。



芸 術 市 場



質問

- ①学級紹介
 - ②修学旅行で1番印象に残ったこと
 - ③修学旅行で思い出に残ったエピソード
 - ④人気だったお土産は?
 - ⑤4月からいよいよ3年生!
- クラスの意気込みをひと言!

- ① 私達の学級は団結力がとても高く、何事にも前向きに考えることのできるクラスです。
- ② 1日目のディズニーランドです。昼から夜にかけて遊べたので、全エリアを満喫することができました。夢の国での夢の時間は、勉強の息抜きとなり、全力で楽しむことができました。
- ③ スキーのとき寒すぎて、友だちの濡れていた髪の毛が凍ってしまったことです。鹿児島ではありえないことなので、友だちも興奮していました。
- ④ やはり、東京ディズニーリゾートでしか買えないディズニーのキャラクターや、ダッフィーのマスコットだと思います。羽田空港でお土産を買っていた人も多かったような気がします。
- ⑤ 受験生としての意識を高く持ち、今から全員で進路実現に向けて日々努力したいと思います。そのために、勉強に取り組めるような雰囲気をつくっていきたいです。



- ① 元気で明るく、にぎやかで“やればできる”クラスです。(よく先生に怒られますが... (笑))
- ② 移動時間がとにかく長かったです。バスの中ではみんな爆睡!!スキーはとても新鮮で楽しかったです。
- ③ C君がスキー研修の休憩時間にお昼寝をしてしまい、中々起きず、午後からの研修に遅刻したこと。(みんなはちゃんと起こしました~(笑))
- ④ 35周年ということもあり... ディズニーグッズやお菓子が人気でした。東京名物!東京ばな奈も人気だったようです。
- ⑤ 勉強! 勉強! 勉強! の3年生ですが、残りの学校生活も楽しみながら一人ひとりが志望校合格を目指して頑張ります!!

- ① 2-6はムードメーカーがたくさんいるため「動物園」という言葉がぴったりの「元気が良く明るいクラス」です。
- ② 自主研修では、超満員電車で揺られながら、OBやOGの方がいらっしゃる企業へと向かいました。(その際、迷子になったり、遅刻する人達も!)
- ③ ディズニーでは、知らない人からチケットをもらった人がいたり...自主研修先で俳優Oさんと会ったグループがあったり...部屋ではガールズ&ボーイズトークが繰り広げられたり...ババ抜きに負けたA君による「尻もじ」が披露されたり...と、たくさんありました。
- ④ 東京ばな奈やディズニーランドでのお土産が人気でした。
- ⑤ 間もなく勉強も部活も最終ステージに突入!!最後の最後まで文武両道を貫き、諦めず、全員が志望校合格できるように頑張っていきます。



2年生

学級紹介&修学旅行報告!!

ENJOY!



- 1 静と動の区別がしっかりしていて、一人ひとりの個性が輝いている、明るく、楽しく、美しくを体現したようなクラスです。
- 2 鹿児島では中々見られない雪が積もっていて、雪合戦をしたり、スキーをしたりしたこと。
- 3 集合時間ギリギリにもかかわらず、3度目のタワー・オブ・テラーに乗り込んだ男子がいた。
- 4 ディズニーランド・シーのキャラクターストラップや、キャラクターがプリントされたクッキー缶が人気だった。
- 5 自分たちの志望校に合格できるように、受験へとスイッチを切り替えて日々の努力を積み重ねていきたいです!

1組



3組



- 1 とりあえず個性が爆発しているクラス。
- 2 スキーのときにスノボにひかれて死にかけたこと。
- 3 ディズニーランドで大勢の人の中で彼女から怒られている彼氏がいたこと。スキーに行く前、積もった雪にはしゃいでいたら、先生に「南の人騒ぐなー!」と言われたこと。
- 4 TDLのグッズ
- 5 受験生として、一人ひとりが希望の進路に進むことができるよう、努力を重ねていきたい。Let's think.



5組



- 1 我らが2年5組、通称 中山組は、組長の中山先生、副組長の田代先生を筆頭に一癖も二癖もある38名の構成員によって成り立っています。「NO GINMI NO LIFE」の信念を掲げ、この群雄割拠の鹿屋高校を統べています。
- 2 飯屋の「太陽楼」が最高で、竜王ホテルが好きになった。
- 3 F君がクラッシュとお友達になり、N君が電車に乗り遅れおいていかれた。
- 4 ゆきお、平成まんじゅう
- 5 我ら今年3年0学期で、組長である中山先生に圧をかけられながらも、入試に向けて日々勉強に力を入れています。全員合格に向けて、特に「数学」を頑張っていきます!

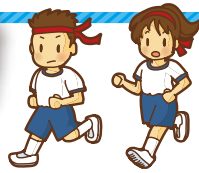
7組



- 1 僕たちのクラスは、体育や行事等にもものすごく一生懸命取り組み、仲がとても良いです。
- 2 企業訪問で大手町に行こうと東京駅に入ったら、周りの人はみんな歩くのが早くて怖かった。
- 3 スキー研修での午前中、滑ることができなすぎて心が折れ、雪合戦を始めました。みんなが全力で投げすぎて、当たったときにとても痛かった。
- 4 東京ばな奈
- 5 受験生としての自覚をもち、日々を大事にして目標を達成できるようにしたい。

長距離走大会

11月20日(火)



1年男子					2年男子					1年女子					2年女子				
順位	学級	番	氏名	タイム	順位	学級	番	氏名	タイム	順位	学級	番	氏名	タイム	順位	学級	番	氏名	タイム
1	5	8	崎森 楓	29:58	1	7	14	曾田 祐輝	28:59	1	4	24	川上 春花	15:46	1	7	35	杉野 音	15:56
2	2	3	亀濱 廉	31:38	2	5	17	平八重 輔	29:01	2	3	28	鶴田 朱音	16:04	2	1	14	奥村 奈桜	17:48
3	3	13	西牟田 秀人	31:54	3	7	2	井戸 春稀	29:06	3	3	33	前村 玲李	16:20	3	6	27	上之郷 玉星	18:04
4	2	6	末永 昇	32:17	4	7	17	西山 旺佑	29:10	4	2	29	寺尾 綾華	16:36	4	7	32	白川 笑麗奈	18:11
5	2	1	梅田 博基	32:27	5	5	2	今藤 康平	29:24	5	2	31	平江 花音	17:00	5	1	28	西原 来海	18:21
6	5	17	萬久 博海	32:37	6	7	16	寺園 航基	29:24	6	1	21	門倉 紗希	17:00	6	1	13	井手 優那	18:28
7	4	13	平山 洸史	33:13	7	1	7	寺田 颯斗	30:11	7	6	30	福島 茜音	17:00	7	2	31	東田 琉那	18:32
8	3	14	野元 介	33:28	8	7	21	牧谷 侑恩	30:15	8	1	25	貞りん	17:47	8	6	34	藤田 深聖	18:33
9	5	16	前村 祥平	33:46	9	2	18	吉崎 慈恩	30:23	9	3	34	山口 桜来	17:47	9	1	19	黒田 真帆	18:53
10	4	9	田嶋 七斗	34:03	10	6	3	有上 優祐	30:36	10	1	27	長瀬 凜	18:44	10	2	25	神園 桃花	19:03

1学年野外実習

12月14日(金)

12月14日(金)に鹿屋高校で長年行われています野外実習がありました。生徒たちは大隅地域の歴史、自然、地質、生態などについて学習しました。この経験によって郷土のよさを再発見できたのではないのでしょうか。



繁昌先生 おめでとう!! いってらっしゃい!!



『だれもわからない』

(芸術科(美術) 繁昌 絵美)

この度、第七三回南日本美術展に出品した『だれもわからない』が海童賞・平面部門優秀賞、第二二回吉井賞を受賞し、来年度フランスを拠点に、欧州留学をさせていただくことになりました。

吉井賞は、洋画家の故吉井淳二先生の尽力で一九七六年に創設されたもので、同展において入選・入賞者の中から一人選出し、一年間ヨーロッパに派遣する制度です。

高校生の頃から憧れ「いつか受賞したい」と思っていただけに受賞の知らせを聞いたときは嬉しくもあり、これまでの自分の努力が報われたと感じました。

今年度の夏、ニューヨーク研修に行かせていただき、自身の制作や美術教育において、インプットの時間・機会をもっと増やさねばならないとも考えていたので、教える立場から学ぶ立場に戻り、技術だけでなく、広い視野・知見を持てたいと思います。

二〇二〇年一二月には、鹿児島市立美術館での滞欧報告展も予定されていますので、ぜひご覧ください。

一年間鹿屋高校を離れ、卒業生・在校生の活躍を近くで見守れない寂しさはありますが、学んだことをしっかりと持ち帰り、学校教育で活かすとともに、鹿児島県的美術界に貢献できるように、努力する所存です。

編集後記

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

人生は、学びと挑戦と成長の連続です。これからも挫折を恐れず、チャレンジ精神を持ち人生を楽しんでください。

今年度最後の発行となりますが、『三星鹿屋』は、広報部員、先生方のご協力の下、PTA活動・研修・学校の取り組みなどを紹介してきました。発行にあたり、ご協力いただきました皆様ありがとうございます。

今後も、輝く子どもたちの成長を楽しみに、三星鹿屋がより発展することを願います。

広報部長 上馬庭 ちず子

担当職員

繁昌・大坪・山口・横山

広報部員

原添(3・1)・田中(3・6)・山口(3・7)
中畑(3・8)
福永(2・1)・宮脇(2・1)・堀内(2・4)
西森(2・4)・上屋(2・6)
早田(1・1)・福永(1・1)・上山(1・5)

離任式のご案内

日時 3月27日(水) 9:30~(予定)

場所 鹿屋高校体育館

平成30年度の離任式が行われます。本校での教育に尽力された先生方との大切なお別れの会です。現役生徒のみならず、卒業生や保護者の皆様も、是非ともご来校ください。